

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和5年4月号）

令和5年4月1日

3月12日（日）、暖かい春の日差しを受けながら、いつものようにボランティアの手で高知駅南口「みんなの庭」の手入れ・清掃を行いました。駅から市内に向かう人々の目を季節の花々が楽しませてくれています。（写真は紫蘭）

4月の活動日は9日（日）09：00～10：30です。
（5月は21日の予定）



○トピックス：

— 駅前に仙台屋桜 —

3月15日（水）朝、待ちかねていた仙台屋桜（実名オオヤマザクラ）の若木（樹高4メートル）が駅前に到着、とさでん高知駅の線路そばに、庭造りの職人さんたちの手で植樹されました（右の写真）。

この希少な桜の木は、高知市（みどり課）からの呼びかけに応じて市内の『桜ライオンズクラブ』とその仲間が調達、市に寄贈してくださったものです。

4月3日からNHK連続テレビ小説『らんまん』が放送されます。この機会に、主人公のモデル牧野富太郎博士がこよなく愛したとされる桜をぜひご覧ください（今年は花芽が無いが、来年は？）。



いっぽう、前川種苗さんをお願いして手配いただいた仙台屋桜の苗木5本（樹高1メートル）もみんな引き受け先が決まりました。（次ページに続く）

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

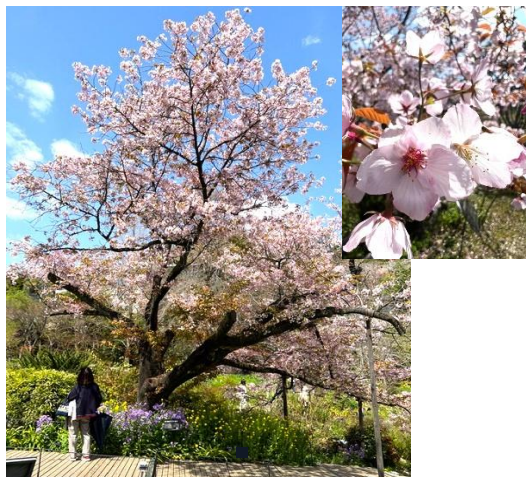
ホームページ： <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>（バックナンバー掲載）

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサン 代表中田昌志」名義 普通 0709695

右の写真①は桂浜水族館（3本お引取り）の敷地に植えられた1本。葉桜となっています。

丸の内の和風カフェ「さらの木」に買っていた鉢は、玄関に置かれていますが（写真②）時期を見て鏡川上流（旧鏡村）に植え付けたいよしです。

残る1本はカフェのお客様が実家（安芸市）に植えたいとお持ち帰りです。



仙台屋桜とは

（写真＝牧野植物園にて3月27日撮影）

「高知の仙台屋という商家の屋敷にあった桜で、蕾や花弁の縁（ふち）の色が濃く美しいため、花の頃には枝を藩主・山内家に献上したといわれています。牧野富太郎博士は、当園の設立に尽力した武井近三郎との200通を超える手紙のなかで‘仙台屋’の美しさや桜を通じて郷里への思いを何度も語り、東京都練馬の自宅の庭にも植えました。当園では3月下旬に見ごろを迎えます。」

（牧野植物園の説明板より）

緑のまちづくりを考える（67）

—「お知らせ」令和5年4月号コラム—

樹木137本が消えた —高知県立牧野植物園の駐車場拡張・改修工事—

高知県（林業振興環境部 自然共生課）による牧野植物園駐車場の拡張・改修工事が3月に終わり、利用客で賑わっています。

ところが、現場を見てビックリしたのは、植物園にふさわしく緑豊かだった旧駐車場が、ただのコンクリート地面に変貌したことです（写真）。工事の目的は、来園客の増加を見据えての収容力拡張（旧214台→新264台）だそうですが、邪魔になる(?)樹木137本が伐採され、姿を消してしまいました（数字は自然共生課より）。

県によれば、再植樹の予定は今のところ無いとか。植物園の新駐車場が砂漠さながらでは、旧駐車場を知る来園者だけでなく、泉下の牧野富太郎もさぞや嘆いているのでは？

「自然共生」の看板に恥じないよう、緑の復活を策定されることを切望します。

改修工事前



工事完成後

